

JAAC だより

～ 企業の採用力を見極める（後編）～

— 企業の採用力は、企業の総合能力である —

前号（本誌9月号）では、「就職活動」を行う学生の立場から視点を180度変えて、企業の立場から「就職活動」とはどのような意味を持つかについて考察してみました。今回は、引き続きそのテーマに沿って、より具体的に企業の「採用力」について皆さんと考えてみましょう。

一般的に言われている企業の「採用力」とは、『企業力』、『労働条件』と『採用活動力』の3項目で構成されていると言われています。それでは、それぞれの項目について見てみましょう。

1. 『企業力』： 企業力とは解りやすく言えば、その企業の「認知度」や、企業が持つ「人気度」や「ブランドイメージ」などと言ったものです。また、それらのイメージを造る基となる企業規模や業績と言ったものも不可欠です。民放のTVやラジオ番組などを提供するスポンサー企業や、新聞や雑誌などに多く広告を出している企業は自然と社会の認知度が高くなりますね。また、企業で働く人たちの姿がマスコミ等で紹介される頻度が高いと、その企業イメージやブランド力も増していく傾向にあります。いつの時代でも比較的高い人気を維持している企業の一つに、旅行会社であるJTBがあります。JTBという名前から、「海外」、「旅行」、「添乗員」などの、言うなれば花形的、あるいは一種の憧れ、とも思える職種イメージが造り出されていますね。また、巨大ファーストフード・チェーンのマクドナルドのように、子供から大人まで全ての世代に受け入れられるTVコマーシャルを常に配信することで、幼い子供のうちからその企業の存在を知る機会を作っています。それによって、企業の認知度は絶大なものになり、自然、且つ、必然的にブランドイメージも高まるようになります。
2. 『労働条件』： 労働条件の主なものとしては、その企業で勤める際の「雇用条件」や「勤務体系」、「福利厚生」等などがあげられるでしょう。雇用条件には給与（給料）や賞与（ボーナス）の条件や体系も含まれ、初任給や昇給について記されているでしょう。また、勤務体系には就業時間や有給休暇制度と言った事柄があります。最近では、社内に保育施設などを設置し、子供をかかえる従業員も安心して仕事ができる環境や、女性にとって働きやすい環境を整えて、福利厚生面でも充実させている企業があります。つまり、企業はそこで働く人たちがいかに安心して、安定した生活を送れるかという労働環境を整備しているのです。そして、その環境のあり方を、労働条件として示すこととなります。
3. 『採用活動力』： 採用活動力とは新規採用に関わる企業の「広報力」や「人事力」、「コミュニケーション力」等が試される力と言っても良いでしょう。普段から広く社会に対する宣伝活動を行っていない企業は、如何に多くの学生に対して自社の事を知ってもらうか、また、自社の業態や社会に対する貢献度を知らせるかが広報力にかかっています。また、企業説明会や企業訪問と言った、学生と直に顔を合わせる機会を利用して、学生に対するきめ細かい対応ができるかどうかは人事力が大きく影響します。人事力には、採用活動にあたる企業側の人間の数や質と言われるものも問われるでしょう。さらには、これら人事担当者や学生との間で、どれ程きめ細かく、心のこもったコミュニケーションを取ることができるかが、企業側と学生との間で強い信頼関係を築けるかどうかの鍵となるでしょう。

このように、企業の採用力を見てみると、留学生である皆さんの持つべき力と良く似ていますね。『企業力』は皆さんにおける『人間力』に相当し、企業のブランドイメージは、皆さん一人ひとりのブランドです。どれだけ素晴らしい人間力を備えているか、というブランドイメージそのものと言えるでしょう。また、『労働条件』は学生の持つ個々の『能力・資質やスキル』に相当し、『自分は・・・が得意で、・・・の特技とスキルを持っています』というように、自分自身の長所をアピールすることになるからです。そして、『採用活動力』は言うまでもなく、皆さんの『就職活動力』に置き換えることができますね。『企業力』と『人間力』、『労働条件』と学生の『能力・資質やスキル』と言うものは一夜漬けで成せるものではなく、日々の努力と精進によって、長い年月を費やして築き上げるものです。当然、そこには企業格差や個人格差と言うものが自然に生まれます。だからこそ、その格差を少しでも克服するために、企業の『採用活動力』と学生の『就職活動力』が必要なのです。企業にとっての『採用活動』は、その企業の将来を担う人材を獲得するという最も重要な活動です。企業は自社が持つ総合能力を結集して、優れた『人間力』を持ち合わせた人材の獲得に努めます。相対して学生の皆さんは、就職活動を通じて自分自身を認めてくれる企業を探すのです。しっかりと目を開き、志望企業の真の姿を見つめてください。 (カリフォルニア事務局： 照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ 増え続ける新型インフルエンザ感染者 ～

— 引き続き注意を喚起します —

新型インフルエンザ A (H1N1) 感染者数が益々増加の傾向にあります。9月10日現在で、日本国内での感染者報告はついに12,500件を超えました。最も発生報告が多いのは沖縄県で1,300件を超えています。次いで、大阪府の1,200件超、東京都の1,000件超となっています。また、9月15日までの入院患者数の累計は890人を超え、死亡者は14名となりました。全国の学校では新学期からクラス閉鎖を余儀なくされている所もあり、授業や学校行事にも影響が出ています。さらに、先日行われた9月のTOEIC試験では、受験生の希望により受験日を来年に変更することを認めました。

JAAC生の留学地であるアメリカでは、感染増加の割合は北半球でも比較的低い状況ですが、依然として感染者の数は増え続ける傾向にあります。外出先から帰った際には、必ず手洗いやうがいをするなど、身近にできる予防を習慣づけるように心がけてください。

Help Line

FAQ

「好成绩が取れる専攻に変えたいのですが…？」

A: 大学に入った当初はとても興味があつた専攻科目も、学年が上がるにしたがって難易度が高くなり、このままでは成績が下がってしまうという状況もありますね。他大学への編入に必要なGPA成績を維持したり、少しでも良いGPA成績で卒業するために、専攻を変えることは良くあることです。しかし、実際に専攻を変える場合は、タイミングを良く見極めることが大事です。専攻を変えることによって履修する科目が新たに増えることがありますので、それに伴って編入時期や卒業時期を延ばさざるを得ない状況になります。それらの事を十分に考え、納得した上で専攻を変えるようにしましょう。また、大学のアドバイザーやJAACカウンセラーと良く話し合い、編入や卒業に必要な履修科目と単位数についての確認を必ず行うようにしてください。

【編集後記】 ●今秋から2011年海外大学新卒者を対象とした就職活動セミナーが始まった。この秋学期から大学3年生になった皆さんは、これから長い就職活動の道を歩むことになる。来年、2010年の採用状況も厳しいと言われている。普段から情報収集に努めて、万全な準備を進めてほしい。就活をする学生も必死だろうが、少しでも早い時期に優秀な学生を獲得しようとする企業側も必死だろう▼新型インフルエンザの感染者が増加の一途を辿っている。日本でも死者が確実に増えている。死亡に至った感染者の年齢も持病も多岐に渡っている。確実な予防策が明確になっていないが、少なくとも普段からの手洗いやうがいを必ず習慣づけてほしい■日本の政権が変わった！！今まで長きに渡って続いた自民党政権が倒れたのだ。単に政権与党が民主党に変わったということではなく、日本の国のあり方自体が変わるといべきだろう。今年はアメリカにおいても、色々な意味で新たな歴史の1ページを作る新しい大統領が誕生した。偶然とはいえ、アメリカも日本も政権与党は民主党になった。双方の民主党のイデオロギーや主義、主張の基となる思想は大同小異だとしても、今後の日米関係には注目していきたい。蜜月を維持してきた日米関係と言われるが、今後はその関係が進展するのか、それとも後退するのか…。いずれにしても、我々は一つ歴史の生き証人になることは確実だ▲今年の夏は元女性アイドルの薬物使用が大きく取り上げられ、連日その関連ニュースが茶の間を賑わした。アメリカでは日本よりも簡単に薬物が手に入るだろう。学生の皆さん、肝に銘じておいてほしい。『薬物は人間をダメにするものだ！！』と。覚えておいてほしい。ご両親の皆さんも私達も、皆さんの良心を信じていることを。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ (インフルエンザ A (H1N1)) における注意喚起： 9月15日現在、国内のインフルエンザ A (H1N1) 感染による死者は14名となりました。アメリカ国内での感染者の数も今なお増え続けています。何らかの体調不良を感じた場合は、直ぐに JAAC カウンセラーに相談し、医療機関等での適切な治療と処置を受けるようにしてください。

■履修科目の変更手続き期限を確認しましょう： 夏休みを日本で過ごした人も、夏学期を取った人も秋学期を迎えて約3～4週間が過ぎようとしています。今学期の履修科目の変更 (Drop and Add) 期限を確認して、変更手続きが必要な人は期限内に手続きを済ませるようにしましょう。その際には、必ずアドバイザーに相談して確認を取ってください。

▼南カリフォルニアの山火事について： 毎年のことですが、ロサンゼルス近郊では山火事が多発していました。11月くらいまでは空気が乾燥している天候が続きます。滞在地域での山火事情報に注意を払うようにしましょう。

★JAAC だより今月号についてのお知らせ： 紙面と編集上の都合により、「カリフォルニア通信」と「ミズーリー通信」の掲載をお休みいたしました。次号ではまた新しい題材を皆さんにお届けしたいと思います。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp